

どう見る 4年間の町政

評価は町民に／町長



しもむら かつゆき 議員 下村 勝幸

問

前議会において、町長より次期町長選挙への出馬表明があった。そんな中、前回町長が掲げた10の公約は、本当に町民が望むものであったのか。そういったことも含めて、今、町長は総括をしなければならぬと思う。行政課題の原点は、地域等の各種現場にあると思う。町長はそんな声を吸い上げてきているのだろうか。そういった認識も含めて問う。

前回の選挙公約は、どの程度達成できているのか。また、達成できていない部分があるとするならば、その問題点や解決方法は見つかっているのか。更に、今後力を入れたい重点項目は何か。

答

下村町長

10項目の政策目標の達成度については具体的な数値目標はないので回答は難しい。また評価は町民の皆さんにして頂くものと思っている。

しかし、新町の町長として合併をやりとげ、一定の方向性を示し、基盤は出来つつある。合併に際しては、特に両町民の融和に留意しながら進めてきた。懸案の大方改良も昨年の夏、事実上の再着手となり、それに伴い庁舎移転等の大きな基盤作りも方向性が示された。大方の中央保育所は本年度より開所し、佐賀統合保育所も来年の春に開所予定。情報通信基盤整備事業はこれから大変重要な場面を迎えるので、慎重かつ精力的に進めたい。黒潮消防署の移転は現在用地買収交渉中である。集

落支援については限界集落が増加する中、区長会も一本化し地域担当制を通じ、集落の在り方を模索してきた。このように現在まで様々な行政課題に取り組んできたが、これからは本場の意味で本番であると思っている。また同時に、目下のところ経済対策等々で大変多くの事業が、来年にかけて用意されている。綿密な計画の元、財政に影響のない範囲で、どうしても必要な事業を前倒しで取り組んでいる。それらを計画どおりきちんと仕上げていくためにも最後まで、自分でやるべきであると思っている。

来年度以降の取り組みとして、特に力を入れていきたいことは、引き続き行財政の健全化を図りながら、積み上げた計画を着実に実行していくこと。そして、産業の振興や観光事業の拡充、また、地域集落の支援を具体的に進めていきたいと思っている。観光分野は非常に地域経済にとつて、重要な部分であることは認識している。今後、地元にどれだけの経済効果があるのかということをもっと具体的に分析し、取り組むべきと思う。一次産業の衰退する中、

